

仮想サーバーホスティングサービス dynaCloud Hosting



止まらない堅牢なインフラをご提供

仮想サーバーホスティングサービス

dynaCloud Hosting IaaS

冗長化された堅牢なインフラ

VMware®の仮想化技術を用い、CPUやメモリ、ディスクといったリソースを必要な分だけ組み合わせた仮想サーバーを構築します。国内最高クラス^{注1}のデータセンターで、お客様に「堅牢なインフラ」をご提供します。

企業の課題

インフラ構築

- ・サーバーの稼働率を上げたい。
- ・サーバーをクラウドに移すことによりオフィスの省スペース化を実現したい。
- ・サーバーのバックアップ環境を簡単に構築したい。
- ・サーバーを短期間で調達したい。

セキュリティ

- ・BCP^{注2}対策としてクラウドにサーバーを置きたい。

コスト削減

- ・オフィスの省スペース化によるコスト削減をしたい。
- ・サーバーームの電気代を削減したい。
- ・サーバーと周辺ハードウェアの保守契約費用や、リプレース時のコストを削減したい。

注1. 当社のデータセンターは、データセンター設計に関する米国の規格「Tier」における、最高ランクのTier4レベルを実現しています。

注2. BCP (Business Continuity Plan) 事業継続計画

■dynaCloud Hostingの特長

インフラ構築

強固なデータセンターにサーバー環境が構築されており、災害時のBCP^{注2}対策に有効です。

セキュリティ

サーバーから回線まで完全冗長化されています。

dynaCloud Hostingはバックアップを含め国内所在で国内最高クラス^{注1}の安全設備と最新のセキュリティで構築されています。

パフォーマンス

必要に応じてCPU、メモリ、ディスクといったリソースを随時変更できますので、ビジネスのニーズに柔軟に対応できます。

■dynaCloud Hostingの利用シーンとメリット

dynaCloud Hosting 利用シーン

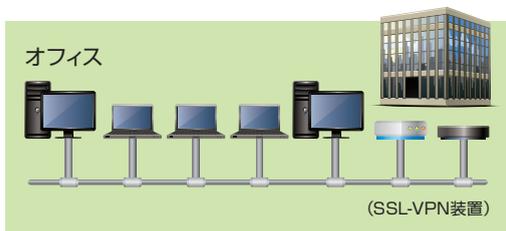


P2V^{注3}による仮想化

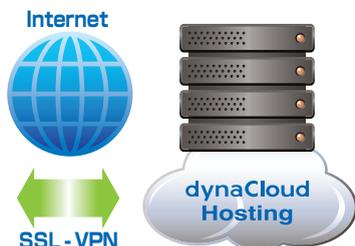
仮想化されたサーバーをdynaCloud Hostingへ引越し

メリット

サーバー運用コストの削減
 ・オフィスの省スペース化
 ・サーバー保守メンテナンス費用の削減
 (UPSの交換・人的リソース・空調 電気代)
 オフィスにはクライアントPCだけ



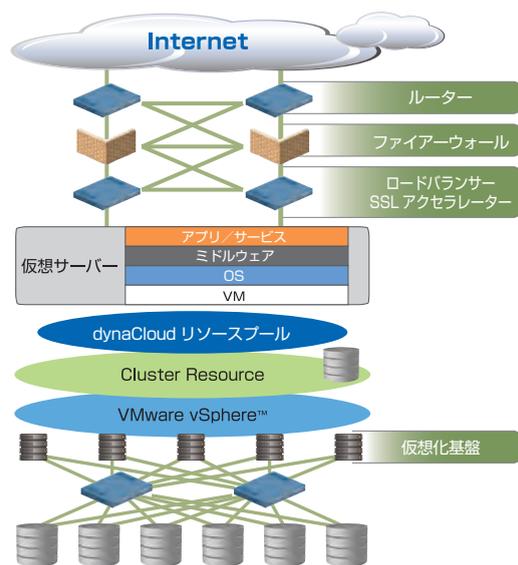
(SSL-VPN装置)



注3: P2V (Physical to Virtual)
 物理マシンで(Physical Machine)で稼働しているシステムを仮想マシン(Virtual Machine)へ移行すること。

■dynaCloud Hosting システム構成

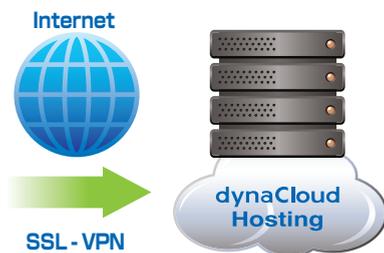
止まらない堅牢なインフラをご提供



活用例 サーバーのバックアップ環境を構築



(SSL-VPN装置)



安全な場所にサーバーのバックアップ環境を構築し、BCP^{注1}対策を行います。
 自社の建物やサーバーが損壊・故障してもバックアップデータがクラウド上にあるため、データは保全されます。

サービスは続々拡大中です、ご希望のサービスがありましたらお問合せください。詳しくは <http://www.dynacloud.jp/>

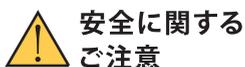
●VMware、VMware vSphereはVMware, Inc.の商標です。●本資料に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。●資料の内容はお断りなしに変更することがあります。

■発売元 東芝クライアントソリューション株式会社

本社 〒135-8505 東京都江東区豊洲 5-6-15 (NBF豊洲ガーデンフロント)

国内事業統括部 国内開発営業本部 電話: 03-5144-3830 FAX: 03-5144-3282

首都圏支社 03-5144-3300	神奈川支店 045-662-4751	関西支社 06-6440-2301
北海道支店 011-512-3301	中部支社 052-528-1284	中国支店 082-223-4900
東北支店 022-265-7890	静岡支店 054-275-0701	四国支店 087-825-2444
新潟支店 025-255-6522	北陸営業所 076-234-1048	九州支店 092-752-0311
北関東支店 048-641-1048		



安全に関する
ご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。